

一 次の文章（『「センス・オブ・ワンダー」を追いかけて』）を読み、後の問に答えなさい。

著作権に配慮して、
引用文の表示は控えています。

一 次の小説（『神様捜索隊』大崎善生）を読み、後の問に答えなさい。

著作権に配慮して、
引用文の表示は控えています。

問一 この場面は(1)いつのことか、(2)どこのことか、それぞれ答えなさい。

問二 傍線1「町内会ニュース」を比喻を用いて表現している部分を本文中から一二字で抜き出しなさい。

問三 傍線2「変な企画」の説明として、適切でないものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 見つからないものや見つかりにくいものを探している。

イ 熱心な参加者たちによって、自主的に催されている。

ウ 不思議な内容にかかわらず、人気がとてもある。

エ 今まで一度も成果をあげたことがない。

問四 傍線3「恒例」の対義語として適切なものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 異例 イ 例外 ウ 異常 エ 恒常

問五 傍線4「神様なんて探してどうするかしら」のように、陽子は参加する気持ちがないように

言うが、実際の行動はどのようなものか、本文中から一文で抜き出しなさい。

問六 傍線5「そんな表情」はどのような表情か、本文中から抜き出しなさい。

問七 この場面を通して、陽子は「神様捜索隊」にどのような気持ちを持っているか、適当なものを

次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 見つからないとわかっていても、探しに行きたいという気持ち。

イ ご近所との交流を深めるつもりで、参加しようという気持ち。

ウ 今度こそ見つけてやる、ひそかに張り切る気持ち。

エ ゴミ掃除に対する義務感で、イヤイヤ参加する気持ち。

二 次の四字熟語の傍線部のカタカナを漢字にしなさい。

1 表|り|一|体 2 シ|ン|小|棒|大 3 一|心|不|ラ|ン 4 私|利|私|ヨ|ク 5 模|ハ|ン|解|答

三 次の傍線部のカタカナを漢字にしなさい。

1 新聞シ|ジ|ョウ|ウ|を|に|ぎ|わ|す。 2 夏野菜がシ|ジ|ョウ|ウ|に|出|ま|わ|る。 3 運賃をセ|イ|サ|ン|する。

4 野菜をセ|イ|サ|ン|する。 5 コウ|テ|イ|で|遊|ぶ。